

足尾植樹祭&備前楯山山行報告

【山行日】2017年4月22(土) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 7:30

【費 用】マイカー1台 : 1,000円

【メンバー】CL:鈴木、伊藤、岩淵、島田、
福田、渡辺

【コースタイム】栃木市運動公園 P7:30=銅金親水公園 P8:50/10:05~植樹ゾーン 10:10/10:30~銅金親水公園 P10:40/11:20~舟石峠 P11:40/11:50~備前楯山 12:10/12:30~舟石峠 P13:00/13:10=山菜直売所 14:20=栃木市運動公園 P15:10



AM7:30栃木市運動公園に集合し、参加者6名にて一路足尾の植樹祭会場に向けて出発する。道中の車内では「桜は咲いているかな?」や「備前楯山のアカヤシオは咲いているかな?」など話題は尽きず、アツと言う間に駐車場に着いてしまった。会場まで歩いて行くと、私たちが歓迎している



のかのように、満開の桜が出迎えてくれた。

いつもの東屋に荷物を下ろし、席を陣取り開会式までトイレなどに行き待つ。9時30分に予定通り開会し、主催者挨拶や来賓の挨拶が続き、小山市長が新入職員51名と地元の高校生37名を連れて参加したと言っていた。今回も土曜日の参加者は、過去最高の1300名を超えたと新聞で報道されていた。今回印象に残ったのは、子供たちの参加が多かったことで、後世にいつまでもつなげていってほしいと思った。足尾の緑

を守る会会長が、「何年かかるか解らないが、100万本まで植樹を続けると」言っていた。周りの山を眺めると、それでも緑が戻るのだろうか?と思わざるを得ない。最後に植樹の仕方や準備体操、全員での記念撮影があり植樹の会場へ向かった。

私たちは階段を登らないBゾーンに行き、入口で苗木2本渡され途中でクワや土、水を受け取り植樹する。今年はきちんと根に土がついた苗を貰い、安心して植えることが出来た。植樹を終えたら反対側の出口から出て、銅金親水公園の会場に戻った。今年は残念なことに、昼食時の豚汁が無く甘酒になってしまい、F田さんは嫌いらしくて飲まなかった。それでもテーブルには赤飯やダイコンとイカの煮つけ、フキやコゴミの山菜や卵焼きが並び、超豪華なランチを堪能した。昼食が済んだら駐車場に戻り、備前楯山登山に向かった。舟石林道を20分程走ると、舟石峠の広い駐車場に着



く。靴を履きかえて登り始めるが、まだ木が芽吹いて無く、アカヤシオのピンクは見られなかったが、山頂に着くと360度の大きなパノラマが待っていた。



展望を楽しみながら、ご褒美のイチゴを食べ「足尾の茶色い山肌が緑になるのはいつごろだろう」と考えてしまった。また来年も植樹祭に参加して、木の苗を植えようと思いながら下山した。帰路は高速を使わず、粕尾峠を越えて帰ることにする。途中の山菜物産店に寄り、採れたてのタラの芽やコゴミを買い、もう一軒では原木シイタケやコシアブラを購入した。明日の石老山山行用に、山菜天ぷらを作るそうだ。予定よりも2時間早く栃木市運動公園に着き、皆さん

大変お疲れ様でした。

T・W 記

